

丸山湿原群保全の会会報

(第 168 号)

発行日：2021 年 (R3) 7 月 21 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com



「7 月 17 日梅雨明けとみられる」ということで、例年より少し早い梅雨明けとなりました。今年の梅雨は？「よーわからん」というのが本音。キノコの生え方からすると雨量は少ないように思いますが、田んぼの水にはほぼ困ることはなかった。整備された水路（水利）の田んぼは少々日照りでも何とか耐えますが、小さなため池だけに頼る旧型の田んぼには降り方が大問題。各地の災害で被害に遭われた方々には大変申し訳ありませんが、ほっと一息できる梅雨でした。町の方々にはイメージがつかみにくいとは思いますが…。

オリンピックがまもなく開幕。コロナ禍の中、どんな「平和の祭典」となるのでしょうか。やるからには前向きに捉えたいものです。

(今住 7 月 20 日作成)

定期活動★6 月 27 日 (日) 作業 7 名で活動 竹筒ポスト新調！

最近にわか人気急上昇中？の竹筒ポストですが、節が抜けて下の段とごちゃまぜに。そこで新調となりました。来場者数の「目安」にしかありませんが、ないよりは何となくわかる。しかもこのごろは認知度も少々 UP！青竹（マダケ）の清々しい姿となりました。



古い竹筒ポストとの比較

調べてみると、2019 年 5 月に更新。もう少し使っていると思っていたのですが、たった 2 年の寿命でした。やはり竹を伐る時期が悪いようです。「木六竹八（きろくたけはち）」という言い伝えにあるように、（調べました！）材として木を伐るなら 6 月。竹を伐るなら 8 月だそうです。（いずれも旧暦）水揚げが落ち着いて？から伐れ。虫や腐りが入りにくいとのこと。「朔旦冬至（さくたんとうじ）」の前の半月に伐採した木が最も長持ちするという話もあります。（朔旦冬至＝冬至と旧暦の 11 月 1 日が重なる日、19 年に 1 度？）



投げ入れ口の作成中

度々作りかえればいいのですが、伐り出しが結構邪魔くさい。特に竹藪はどこも荒れ放題ですから。実は冬場に作ればいい…？



完成！

この日は、この竹筒ポストの設置と、歩道沿いのヤマウルシ(山漆)の片づけ。これから園児や、環境学習で小学生がやってきます。清らかなお肌が漆に負けては大変。そばを通るだけでかぶれる人もいそう。まして園児などはちょうど顔付近に葉っぱがきそう。数が多く全てとはいきませんが、少しでも安全にと…。うまくいくといいのですが。

はなみずき保育園 来訪 ★6月30日(水)本園 7月12日(月)分園

勝手に命名「四季おりおり」計画!

昨年度末より始まった「はなみずき保育園」の来訪。今年度は「初夏?・夏・秋・冬・早春」の5回の予定で本園・分園、さらに「やまぼうし保育園」分園もそれぞれ計画中です。



大人気? 新しくしてよかった



長靴の正しい使い方?



ここも長靴でよかった



ウラジロを背負って到着

「四季おりおり」計画?年5回?気候変動ということで、「四季おりおり」でお願いします…。ええんやろか?勝手に命名ですから…。

その最初。本園。梅雨の真っ只中ということで天候を心配しましたが、まずまずの天気。園児たちがバスから降り立ちます。早速「長靴自慢」。保育園児に長靴。最近あまり必要ないのも事実。すぐ足のサイズが大きくなるしね。ある意味「もったいない」。しかし安全と濡れ防止のためには必須。ご無理をお願いしました。しっかり役に立ったと思います。

新調した竹筒ポストに石を次々と。「ここに入れると幸せが来るんだよ!」と。そんなこと言わなくても、「一人ひとつづつね」だけでOKなのですが。大人の「作戦」が無垢の心にどう映るか。いや「伝説の竹筒ポスト」です。

せっかく長靴を履いているので使い方も伝授。水たまりを見つけたら何が何でも入っていく。ギリギリまで入る。

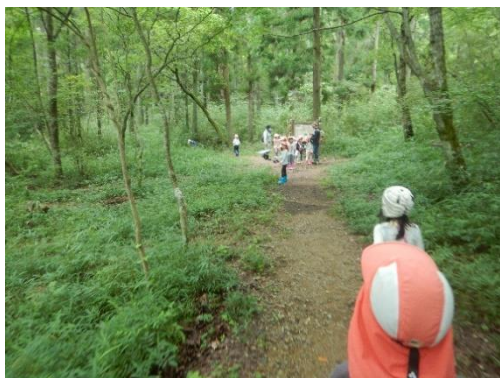
子ども時代、雨の後の溝に入って遊んだのを思い出します。結局「あっ!」「冷た!」となるんですが、今回はどうだったでしょうか。着替えも持ってきているよう。ま〜いいでしょう。熱中症対策?です。大人は屁理屈。

今回の大きな目的はハッチョウトンボ(八丁蜻蛉)。湿原に到着するとお迎えしてくれました。ただ、印象としては小さなトンボより大きなトンボの方に興味津々。「貴重」とか「珍しい」なんて関係ない?改めて価値観がどのように形成されるのか考えてしまいました。まだ無垢だもんね。「体験=遊び?」「知識=気づき?」あ〜あんまり考えんとこ!

お腹がすいたので「キッチン はなみずき」で豚丼。なんでもか知りませんが我々もご相伴に預かりました。「いっしょに食べよー!」の声もあったしね。ええんやろか?



豚丼おいしいねえ〜



同じに見えますが 分園です



ウラジロは兜の「鍬形」 カッコイイ

ました。オオウラジロノキ（大裏白の木）の小りんごも探しましたがまだ早い！（未熟な実はあった？）そのうち雷が「ゴロゴロ」。暗雲が立ち込めてきました。バスに乗り込むとすぐ雨が…。無事に帰れたでしょうか？次回は「サギソウツアー」楽しみに待ってまーす！

分園は7月2日（金）の予定が雨のため延期。今回も昼頃には雷雨予報。振替のため「キッチンはなみずき」は無し。園に帰って食べるとのこと。今回の出会いは「水筒自慢」から。みんなかわいい水筒をぶら下げています。キャラクターの名前が…わからな〜い。適当に答えると優しく怒られました。

今回の長靴有効利用は、小川に入ろう！というより、先に飛び込んだのは大人。その姿を見て「はいりたい〜」「はいりたい〜」の声。申し訳ない。先生にご迷惑をおかけしました。ひとり入ると…。次から次へ。サワガニ探しが目的でしたが園児たちは小川に入るだけで楽しい！「赤ちゃんサワガニ」も見つかりました。

ウラジロ（裏白）活用の「鍬形（くわがた）」も好評。ハッチョウトンボはもちろんカナブン（金蚕）やオオシオカラトンボ（大塩辛蜻蛉）も見られま

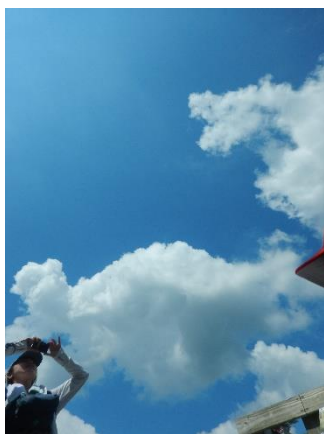


いたいた！ハッチョウトンボ

いたいた！ハッチョウトンボ

小学校環境学習Ⅱ ★7月14日（水）やっとなフィールド活動！ マスクがいややね〜？

西谷小学校3年生の環境学習。1回目は教室での座学。6月4日のことでした。「コロナ緊急事態宣言」の延長もあり、フィールド活動は学期末に。去年はたった1回でした。誰が1年後も続いていると予想したでしょうか？基本大人も子どももマスク。屋外なので「暑い時は外していいよ」と先生の声も。しかしマスクが日常になってしまっているのか、外す子は数人。「慣れ」とは恐ろしいものです。（悪くもないか？）



まるで梅雨明け 雲が…

梅雨明けは間近。天気は不安定ながらも晴れ。2回目の対面にワクワク感満載です。

今回は宝塚市がマイクロバスを出してくれたようです。ほとんどの児童が長靴を履いていました。兄姉のいる子はお下がり。素晴らしい。使い方を伝授しなければ…。駐車場の草のところに掘り返したあとが。「これは誰が？」の質問に「イノシシ！」とすぐ返事。さすが西谷の子。よくわかっています。トノサマガエル（殿様蛙）も結構いました。これにも「なぜ？」と聞くと「エサ食べるに」。正解！カエルがたくさんいるということは？カエルを食べるやつもいる。「何？」に「ヘビ！」とすぐ返ってきました。食物連鎖のお勉強でした。

ところが、期待に反して進んでも進んでもヘビとは遭遇せず。ちょっと残念でし



正しい長靴の使い方 II



第4湿原 ハッチョウトンボはいる

た。嫌いな子もいるし、まーいいか。次回に期待しましょう。(10月まだいるかな?) その代わりと言っては何ですが、小川ではサワガニをゲット! 飼育に挑戦するかも? した? 夏休み近いしな~。お任せしましょう。笹舟や食べられる葉っぱ。いい香りの植物。肌触りの良い葉などなど楽しみながら湿原へ。この時期花は少ないが、ハッコウトシボは必見! やはり「小ささ」には驚いていました。実物を見る。やっぱり大切です。今回は秋。おいしいツアー? 待ってるで~!



視点場で パシヤリ カメラはどこ?

定期活動★7月10日(土) 定期基礎調査 10名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	74	51	入口	10:06	27.9℃		
ハイキング	12	14	第3湿原	10:42	【22.5℃】	35.2 μS/cm	7.1
散歩・登山	49	21	視点場	10:57	29.5℃	24.9 μS/cm	7.0
来場者数 計 221 人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	11:13	【28.4℃】	26.9 μS/cm	7.1
			第2湿原	11:40	【26.0℃】	31.9 μS/cm	7.0

日時が前後していますが、基礎調査です。雨の後なので、この日はヘビが多く見られました。入口にマムシ(蝮)! 水の中で体温が下がったのかいつも以上に動きが鈍い。お腹がいっぱいだったのかも? 長靴を有効に使い、今回は逃がしてやりました。少ないながらキノコも出ていました。やはり思っているより雨は少ないのではないのでしょうか。報告は以上。(短か!)



総会報告 ★7月10日(土) 午後に表決書確認。活動予定調整。 マムシ君 そこは命取りよ! 君の!

今回も残念ながら総会は書面議決。総会員数 33 名 (法人 1 を含む)。表決数 30。無回答 3。

議案については全て賛成され議決。**意見** ①最近、湿原内への踏み込みが増えているのでは。何か対策を。②第1湿原出水口の深掘れが始まっているのでは。対策は必要ないか。

この2点については、エコ推の方でも提案し考えていきます。

サギソウ開花数調査 8月22日(日)…詳細はチラシをご覧ください。HPからの申し込みが便利です。

ガイド養成 研修 豊岡方面(コウノトリの郷等)詳細は未定ですが、9月18日(土)で調整中。

丸山湿原セミナー 昨年予定していた「外来種」をテーマに10月中旬実施の予定。

両生類セミナー 例年通り実施。2月下旬~3月上旬。

まだまだコロナの状況が先行き不透明で、実施出来るものと出来ないものがあるかもしれません。その都度情報は流していきますので、ご協力をお願い致します。

サギソウ開花数調査 調査員募集

2021年8月22日(日)

10:00 湿原入口集合

《定員》20名(先着順・無料)

コロナ対策・保険加入の関係上
お名前・ご住所・電話番号を明記してください

《申し込み》

maruyamasagisou@gmail.com

HPからも申し込み可能です

(下記問い合わせ先でも受け付けます)

丸山湿原エコミュージアム推進協議会

〒671-2111 宝塚市大塚野字原野門1-1

丸山地区民らづくり協議会事務局内

FAX 0797-91-1788

丸山湿原群保全の会 電話 090-1495-8061(今住)

丸山湿原エコミュージアム推進協議会(主催)
阪神北摂見局・宝塚市(共催)
丸山湿原群保全の会(実施団体)

兵庫県天然記念物
丸山湿原群



HP QRコード

参加される方は、動きやすい服装・下着(汗拭きシート)をご用意ください。また、急な対策(水着供給、体調管理)は各自で責任を負ってください。変更は随時させていただきます。
※申し込みは必ずお名前・住所・電話番号を明記してください。
コロナ対策のため、マスクの着用とお願いいたします。
発熱・体調不良の際はご連絡ください。

次回活動 7月25日(日) 8月14日(土) 22日(日) サギソウ開花数調査